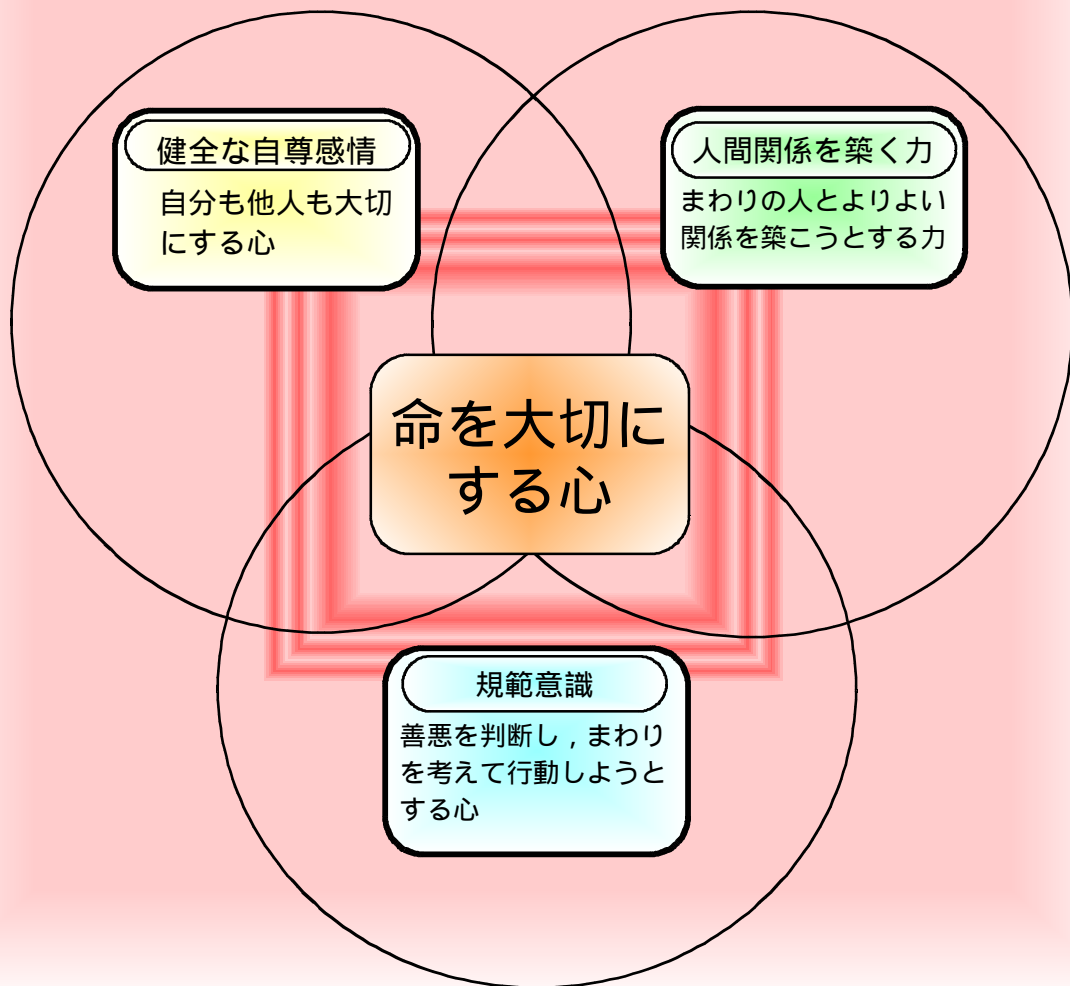


道徳的実践プログラム



はじめに

中学生の時期は、心身両面にわたる発達著しく、主体的な自我の確立を求める時期です。この特性を踏まえ、命を大切にすることを育むために「健全な自尊感情」、「人間関係を築く力」、「規範意識」の育成が重要であると考えます。

道徳的実践プログラムとは、命を大切にすることを育むために大きくかかわるととらえたこれら三つの重要事項を高めるための道徳的実践活動等の指導計画の作成の手順及び具体的な指導計画例を示したものです。

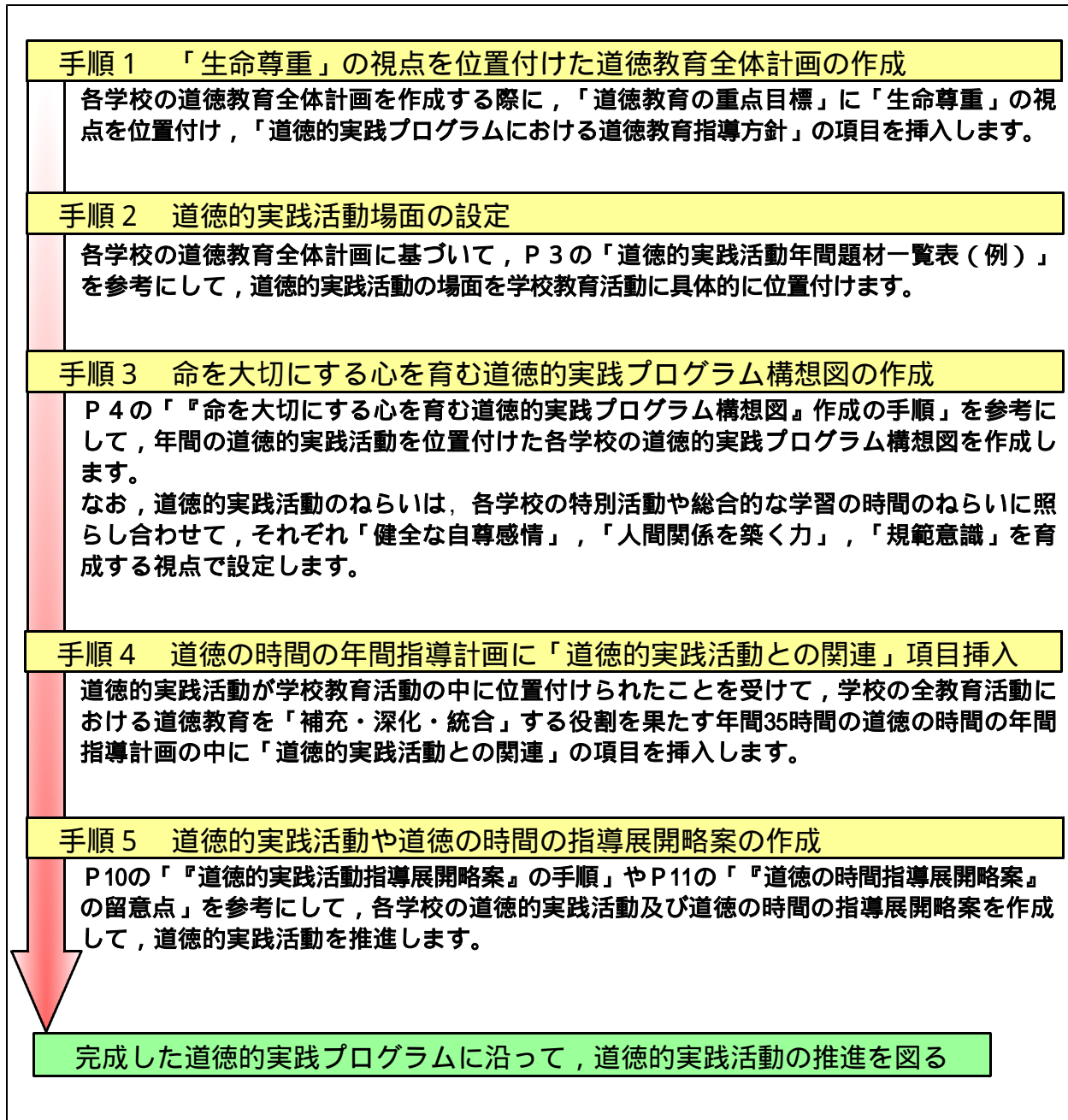
この道徳的実践プログラムを効果的に活用することで、各学校の実態に即した道徳教育の具体的な指導計画作成及び実践に役立ててほしいと考ます。

道徳的実践プログラム：目次

命を大切にすることを育む道徳的実践プログラム作成の手順	1
手順1 「生命尊重」の視点を位置付けた道徳教育全体計画の作成	2
手順2 道徳的実践活動場面の設定	4
手順3 「命を大切にすることを育む道徳的実践プログラム構想図」の作成	6
手順4 道徳の時間の年間指導計画に「道徳的実践活動との関連」項目挿入	8
手順5 道徳的実践活動や道徳の時間の指導展開略案の作成	10
資料編：道徳的実践活動及び道徳の時間の実践事例	12
(1) 「命を見つめるオリエンテーション」指導展開案	13
道徳の時間指導展開案「妹に」	13
特別活動「命を見つめるオリエンテーション」指導展開案	14
(2) 「道徳的実践活動として位置付けた総合的な学習の時間の職場体験学習」の指導展開案	16
道徳的実践活動第一段階（意欲付け）指導展開案	17
道徳的実践活動第三段階（振り返り）指導展開案	18
道徳の時間指導展開案「じいちゃん」	19
道徳の時間指導展開案「夜の果物屋」	21
(3) 「道徳的実践活動として位置付けた文化祭」指導展開案	22
道徳的実践活動第一段階（意欲付け）指導展開案	23
道徳的実践活動第三段階（振り返り）指導展開案	24
道徳の時間指導展開案「アイヌ語とともに 金田一京助」	25
道徳の時間指導展開案「クマのぬいぐるみとわたし」	27
道徳の時間指導展開案「錆びた自転車」	28
(4) 「命を見つめる振り返りタイム」指導展開案	29
特別活動「命を見つめる振り返りタイム」指導展開案	29
道徳の時間指導展開案「奇跡の一週間」	30
実践で使用した「見つめるシート」	31

道徳的実践プログラム作成の手順

各学校における命を大切にすることを育む道徳的実践プログラム作成の手順を下图に示します。



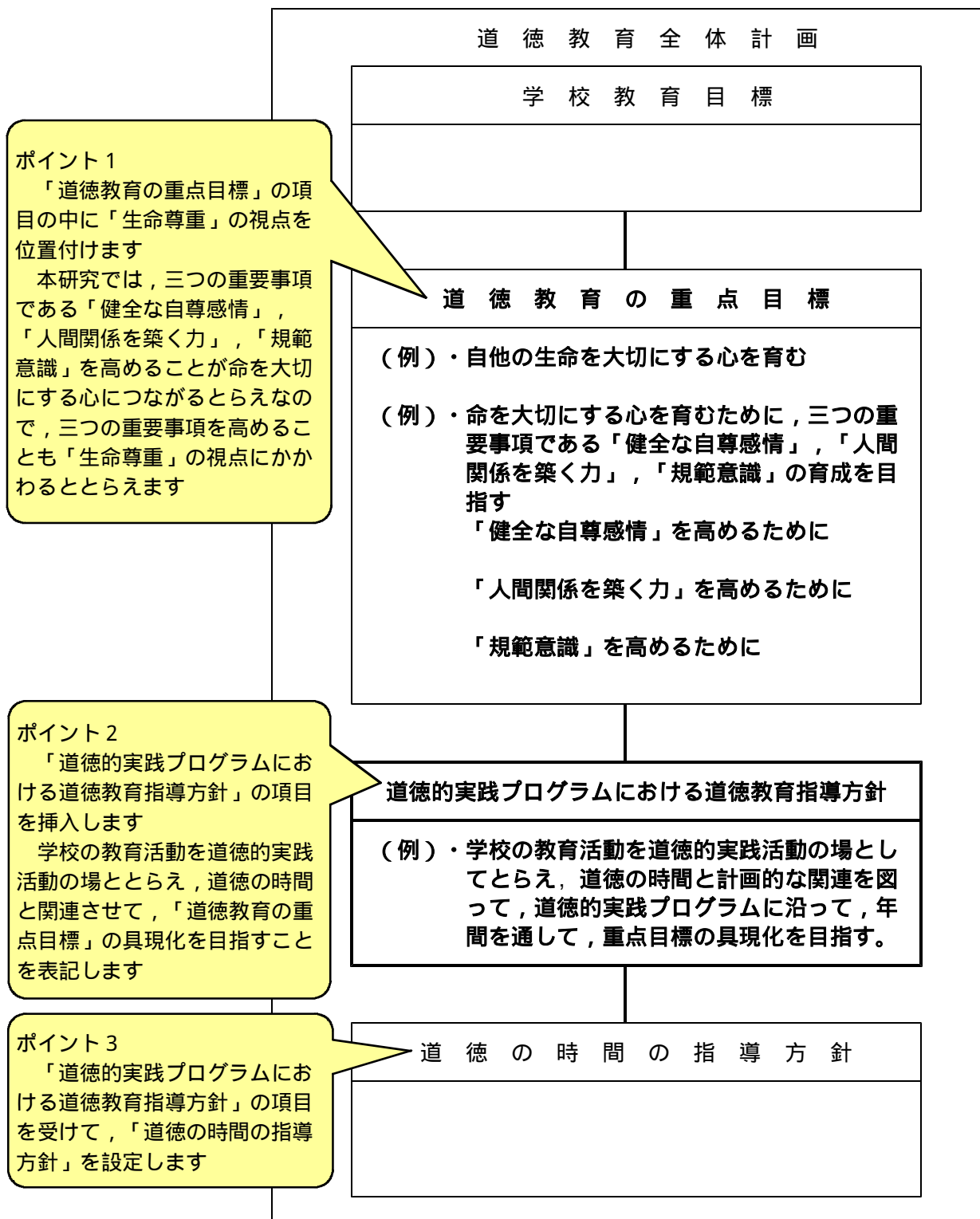
【図1】命を大切にすることを育む道徳的実践プログラム作成の手順

道徳的実践プログラム作成の手順は【図1】に示したように五つの段階から成ります。次頁以降に道徳的実践プログラムの作成の手順と具体の指導計画例を示します。

手順1 「生命尊重」の視点を位置付けた道徳教育全体計画の作成

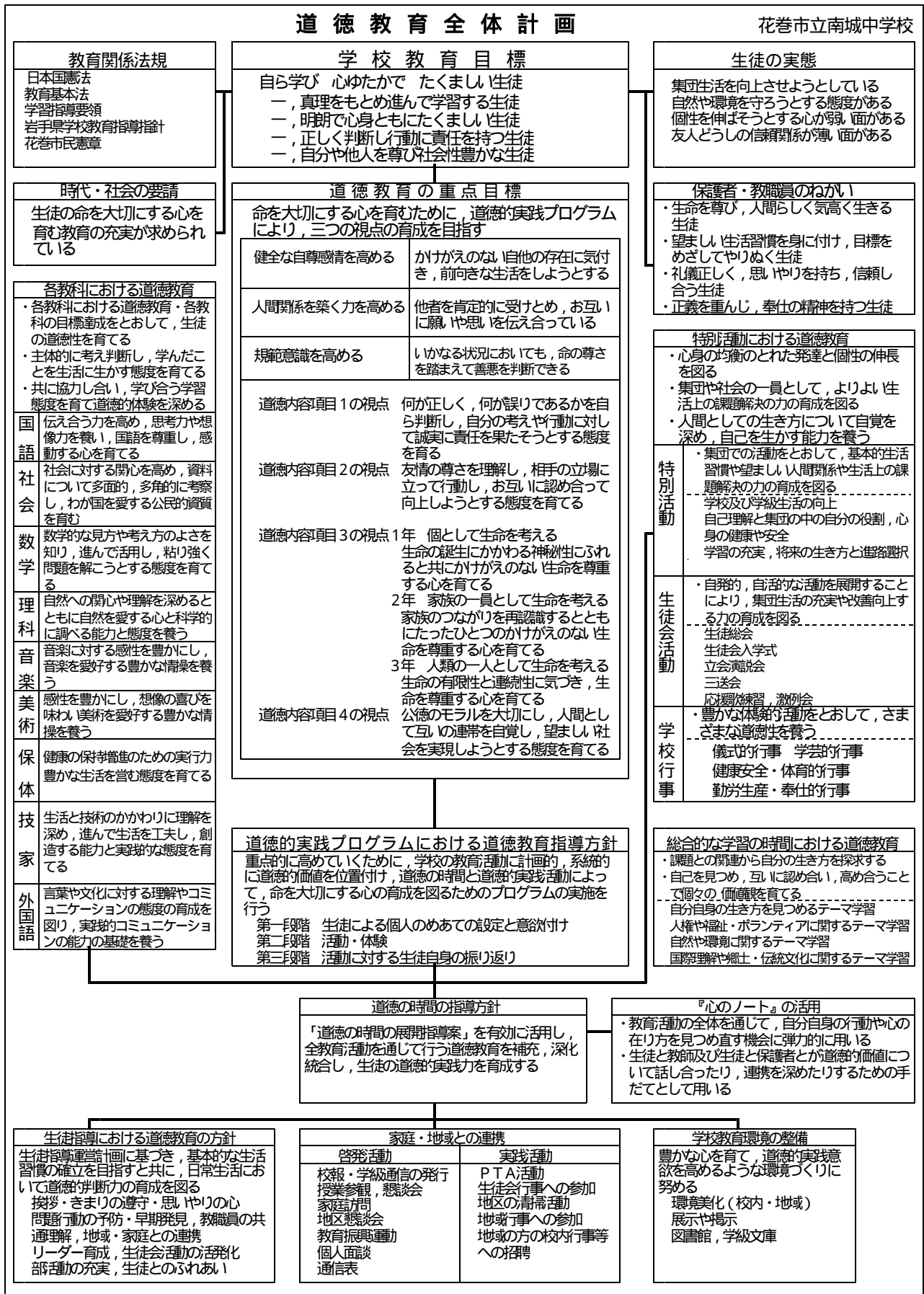
各学校の道徳教育全体計画を作成する際に、「道徳教育の重点目標」に「生命尊重」の視点を位置付け、「道徳的実践プログラムにおける道徳教育指導方針」の項目を挿入します。具体の手順を示します。

「生命尊重」の視点を位置付けた道徳教育全体計画作成の手順



手順1を基に作成した研究協力校における道徳教育全体計画を下図に示します。

研究協力校における道徳教育全体計画



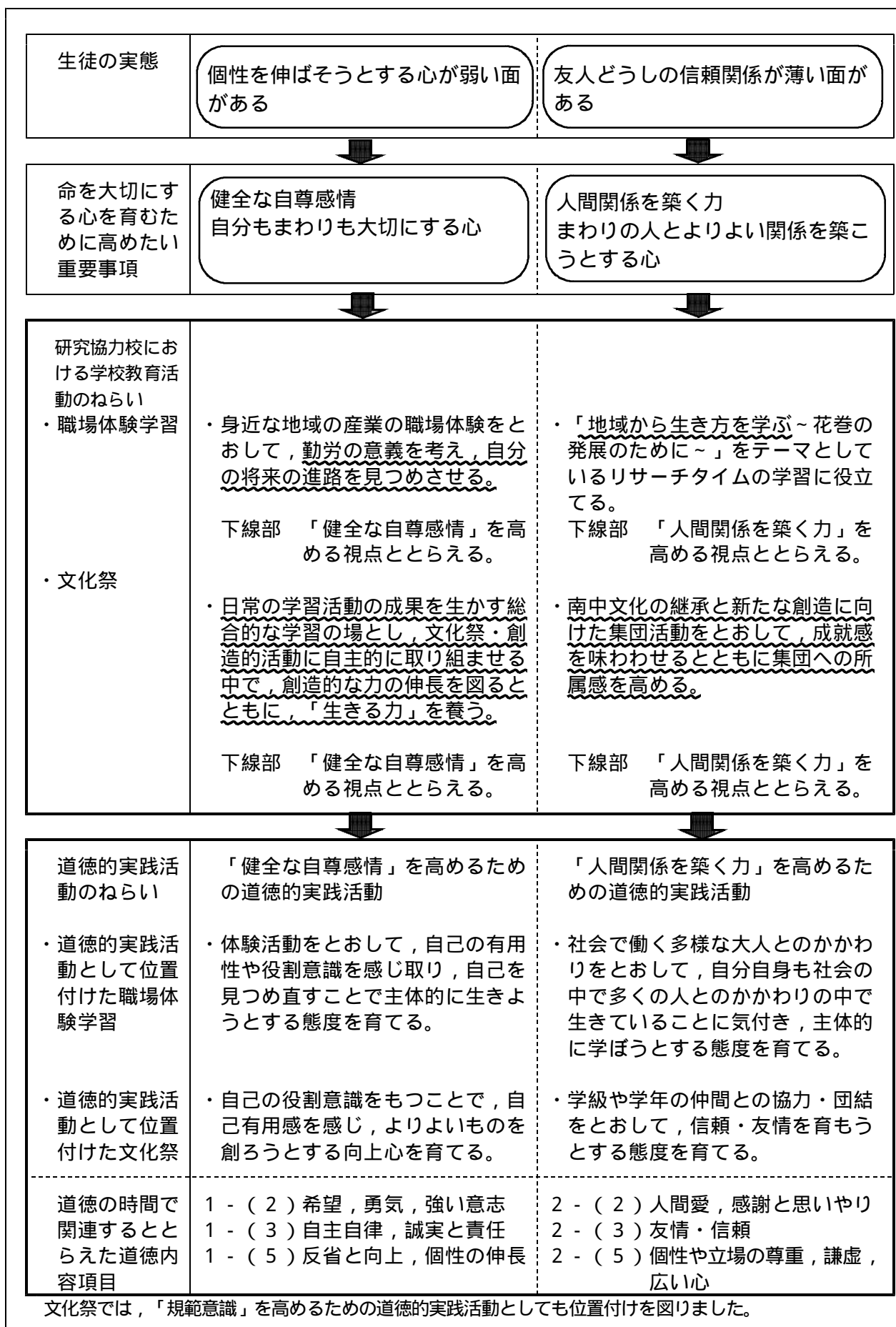
手順2 道徳的実践活動場面の設定

各学校の道徳教育全体計画に基づいて、道徳的実践活動の場面を学校教育活動に位置付けます。学校教育活動のどのような場面を道徳的実践活動に位置付けていくことができるのか三つの重要事項とのつながりも含めて「命を大切にすることを育む道徳的実践活動年問題材一覧表（例）」を示します。（印は、重要事項の要素を特に強く含んでいるとらえた事項です。）

「命を大切にすることを育む道徳的実践活動年問題材一覧表（例）」

領域	題材	活動の主なねらい	三つの重要事項			
			健全な 自尊心 情	人間関 係を築 く力	規範意 識	
特別 生活 活動	学 校 儀 式 的 行 事	入学式	新入生の入学を喜び合い、新しい学校生活における夢や希望をもつ。			
		始業式	新学期に臨む意欲と新たな目標をもつ。			
		終業式	学期の成果と課題を確認し、長期休業に向けての目標をもつ。			
		卒業式	卒業生の卒業を喜び合い、それぞれの新しい生活への期待と目標をもつ。			
	学 校 体 育 的 行 事	体育祭	集団の中で自己の力を発揮すると同時に仲間と協力し合うことの大切さを学ぶ。			
		校内球技大会	仲間と協力し合って、よりよい関係を築こうとしたり、目標に向かって自分の役割を果たす。			
		地区陸上大会	応援や競技に目標をもって取り組む。			
	学 校 行 事 学 芸 的 行 事	文化祭	日常の学習活動の成果を発表し、創造的な力を培うとともに集団の中での仲間との協力や団結を深める。			
		団体鑑賞	価値のある学芸に触れることによって、自身の創造的な感性を磨く。			
		合唱コンクール	全校や学級が一体となったハーモニー創りをとおして、仲間との団結を深める。			
	学 校 行 事 旅 行 的 行 事	集団宿泊研修	集団生活に必要な基本的な生活習慣のきまりを確認するとともに、仲間との交流をとおして、親睦を図る。			
		修学旅行	これまで学校生活で学んだ学び方を社会に出て体験する機会であるとともに仲間との協力や親睦を深める。			
	学 校 行 事 生 徒 会 行 事	生徒会オリエンテーション	新入生の生徒会活動への意識付けを図るとともに、全校で協力して学校の向上を決意する。			
		応援歌練習	自校の応援歌を覚えることによって、愛校心を深める。			
		生徒総会	集団の中の一員として責任をもって、学校生活を向上させていこうとする態度をもつ。			
		福祉体験活動	福祉に対する視野を広め、社会の中で自分が役立つことの大切さを自覚する。			
		環境保全活動	自分たちの身近な地域の環境の在り方を考えとともに、保全を心がけていこうとする意欲をもつ。			
		委員会活動	自分の仕事に自覚と責任をもって、主体的に活動に取り組む態度をもつ。			
日 常 生 活	学級係活動	学級の中における自分の仕事に責任と自覚をもつ。				
	清掃活動	自分たちの日常生活の場をきれいに保つことの大切さを自覚する。				
	短学活	一日の成果と課題を確認し合って、毎日の学級生活の在り方を見つめ直す。				
総合的な 学習の時間	(例) 職場体験学習	勤労の意義を考え、社会の中での自分の有用性を感じ取り、主体的に自分の進路を考える態度をもつ。				

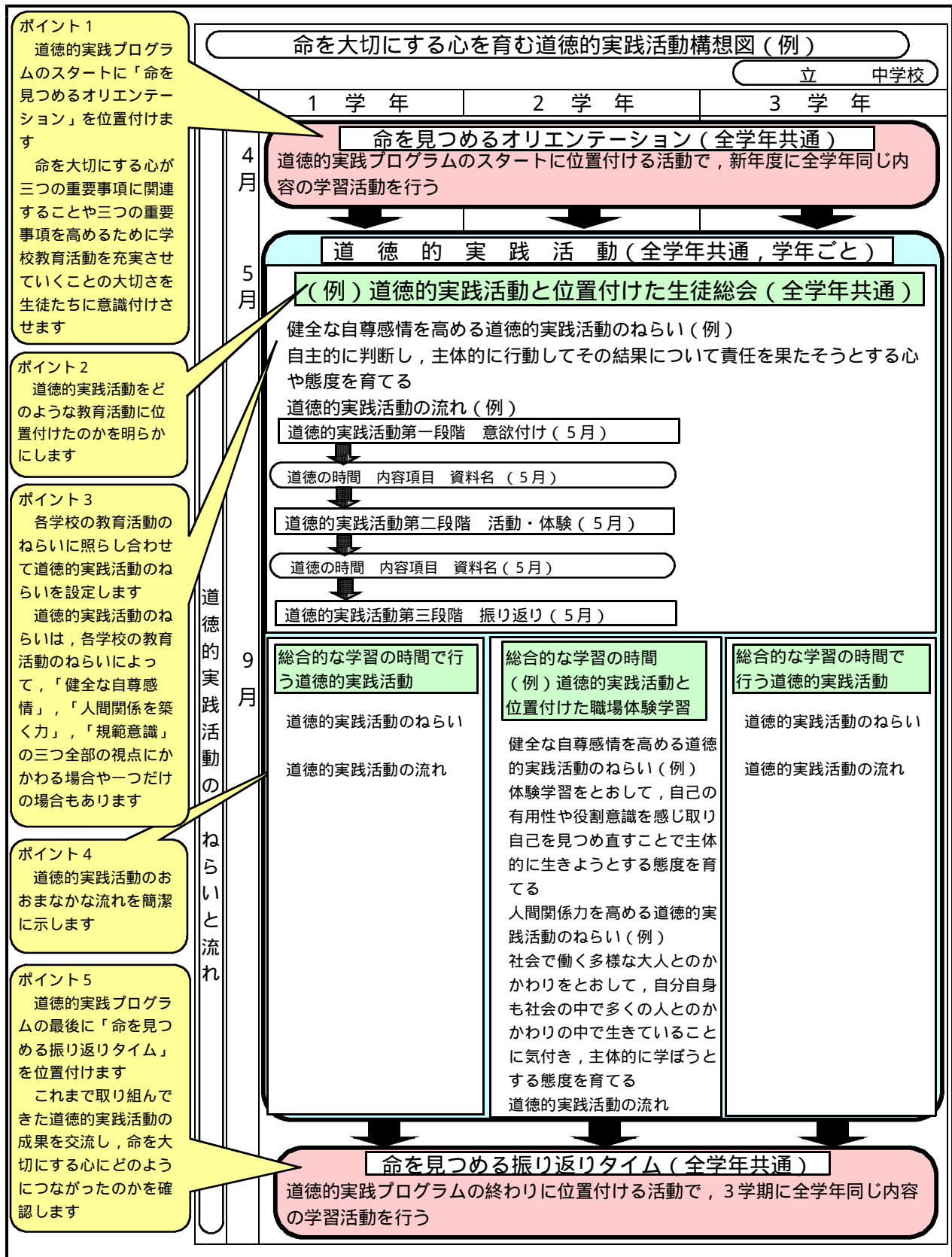
手順2を基に研究協力校における道徳的実践活動を下図のようにとらえました。



手順3 「命を大切にする心を育む道徳的实践プログラム構想図」の作成

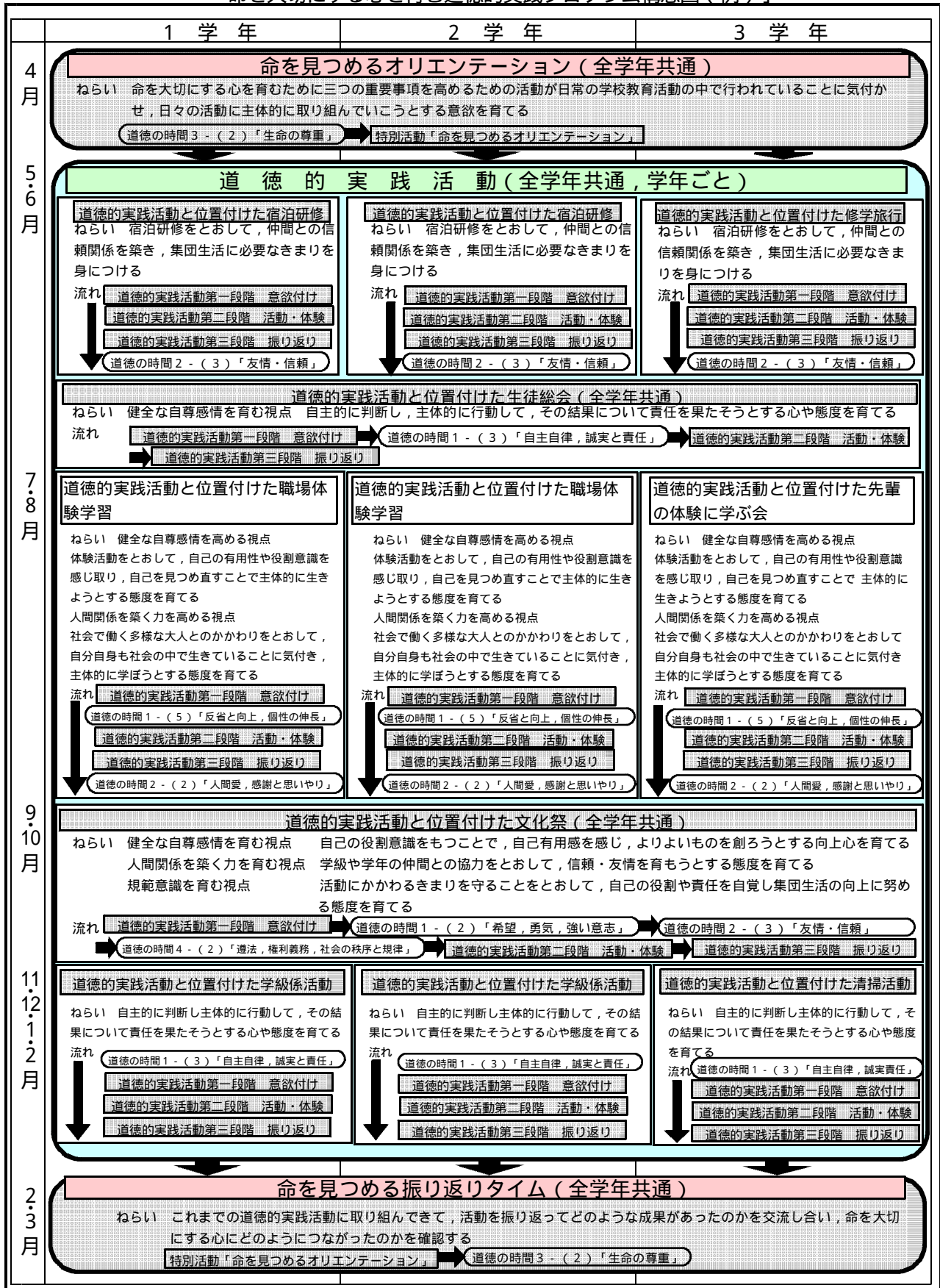
各学校における道徳的实践活動の一年間の見通しや取組の内容を示した「命を大切にする心を育む道徳的实践プログラム構想図」を作成します。下記に「『命を大切にする心を育む道徳的实践プログラム構想図』作成の手順」を示します。

「『命を大切にする心を育む道徳的实践プログラム構想図』作成の手順」



手順3を基に作成した「命を大切にすることを育む道徳的実践プログラム構想図(例)」を下記に示します。

「命を大切にすることを育む道徳的実践プログラム構想図(例)」



手順4 道徳の時間の年間指導計画に「道徳的実践活動との関連項目」挿入

道徳的実践活動場面が学校教育活動の中に位置付けられた「命を大切にすることを育む道徳的実践プログラム構想図」が完成したことを受けて、学校の全教育活動における道徳教育を「補充・深化・統合」する役割を果たす年間35時間の各学年の道徳の時間の年間指導計画の作成を行います。

道徳の時間の年間指導計画の作成にあたっては、「命を大切にすることを育む道徳的実践プログラム構想図」に沿って設定します。そのために、年間指導計画の項目の中に「道徳的実践活動との関連」という項目を挿入して、道徳的実践活動との関連を明らかにします。道徳の時間の年間指導計画の作成例を下記に示します。

「『道徳の時間』年間指導計画の作成（例）」

月	内容項目	主題名	資料名 (発行社)	ねらい	心のノート の活用	道徳的実践活 動との関連
4	1(2)	望ましい生活習慣, 心身の健康, 節度節制		望ましい生活習慣を身に付け, 節度のある生活をしようとする態度を育てる。	P16	
4	3(2)	生命の尊重		かけがえのない命の尊さに気づき, 家族や周りの人々の愛情に感謝しながら生きていこうとする心情を育てる。	P74, 75	特別活動 学級活動 命を見つめる オリエンテーション
4	2(3)	友情・信頼		友情の尊さを理解し, お互いに相手の立場になって行動しようとする態度を育てる。	P48, 49	特別活動 学校行事 体育祭
5	1(2)	反省と向上, 個性の伸長		物事に積極的に取り組み, 困難に屈しないで粘り強く最後までやり通そうとする態度を育てる。	P20, 21	特別活動 学校行事 体育祭

第二学年「道徳の時間」年間指導計画(例)

道徳の時間の年間指導計画の項目の中に「道徳的実践活動との関連」を挿入します

学校教育活動のねらいに合わせて、道徳的実践活動のねらいが設定され、さらに関連する内容項目の道徳の時間が位置付けられます

手順4を基に作成した研究協力校における「道徳の時間の年間指導計画（上半期）」を下图に示します。

研究協力校における「道徳の時間の年間指導計画（2学年：上半期）」

・・・三つの重要事項と関連するととらえた重視する道徳内容項目

月	内容項目	主題名	資料名 (発行社)	ねらい	心のノートの活用	道徳的実践活動との関連
4月	1(1)	望ましい生活習慣 心身の健康, 節度 節制	ばなしの女王 (東京書籍)	望ましい生活習慣を身に付け, 節度のある生活をしようとする態度を育てる	P 16	
	2(1)	礼儀, 適切な言動	一枚のはがき	時と場に応じた適切な言葉遣いや言動をとろうとする態度を育てる	P 38, 39	
5月	4(7)	愛校心, 校風の樹立	ある卒業生との 出会い	これまで培ってきた校風に誇りをもち, 発展させようとする態度を育てる	P 106	
	1(3)	自主自律, 誠実と 責任	百キロ歩いて子 どもの日	自分で考え, 自分で決めたことを誠実に実行し, その結果について最後まで責任を果たそうとする態度を育てる	P 22, 23	【特別活動】 生徒総会
	1(3)	自主自律, 誠実と 責任	金語楼さんのこ と	自分なりに信念をもって生きることの素晴らしさを感じさせ, 自分自身や社会に対して責任をもって, 常に誠実に生きていこうとする心情を養う	P 22, 23	【特別活動】 生徒総会
6月	4(2)	遵法, 権利義務, 社会の秩序と規律	許さない心	秩序は規律を守ることが大切であることを理解し, これを守ろうとする態度を育てる	P 88	
	4(1)	役割と責任の自覚 集団生活の向上	明かりの下の燭台	集団の一員として役割を果たし, 集団生活の向上に努めようとする意欲を育てる	P 82, 83	
	3(2)	生命の尊重	妹に	生命の誕生をとおして, かけがえのない自他の命の尊さに気付く, 家族や周りの人々の愛情に感謝しながら生きていこうとする心情を育てる	P 68	【特別活動】 命を見つめるオリエンテーション
7月	1(5)	失敗?それが今の君だ	反省と向上, 個性の伸長	過ちは素直に反省し, 謙虚に自己を見つめて, 自己の向上に生かそうとする心情を育てる	P 54, 55	
	1(4)	太平洋と日本海をつなぐ桜道	真実愛, 真実の追求, 理想実現	常に真実を求め, 理想の実現をめざして, 自己の人生を切り拓いていこうとする心情を養う	P 26 ~ 28	
	4(5)	勤労, 社会への奉仕, 公共の福祉	震災の中で	ともに支え合うことの大切さを自覚し, 社会への奉仕を進んで実践しようとする態度を育てる	P 100, 101	
8月	3(1)	自然の愛護, 豊かな心, 畏敬の念	冬の使者「マガン」	自然と人間のかかわりについて考え, かけがえのない自然を愛護し, その保全に努めようとする態度を育てる	P 64, 65	
9月	4(8)	郷土愛, 先人への尊敬と感謝	祭りの夜	地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し, 郷土の発展に努めようとする心情を養う	P 112	
	1(5)	反省と向上, 個性の伸長	じいちゃん	自己を見つめ, 自己の向上を図るとともに, 個性や適性を伸ばして充実した生き方を追求しようとする意欲を育てる	P 54, 55	【総合的な学習の時間】 職場体験学習
	2(2)	人間愛, 感謝と思いやり	夜の果物屋	人の親切に素直に感謝し, 他の人に対しては思いやりの心をもって接しようとする心情を育てる	P 44	【総合的な学習の時間】 職場体験学習
10月	1(2)	希望, 勇気, 強い意志	アイヌ語とともに 金田一京助	物事に積極的に取り組み, 困難に屈しないで最後までやりとおそうとする意欲を育てる	P 20, 21	【特別活動】 文化祭
	2(3)	友情・信頼	クマのぬいぐるみとわたし	友情の尊さを理解し, お互いに相手の立場になって行動しようとする態度を育てる	P 46, 47	【特別活動】 文化祭
	4(3)	遵法, 権利義務, 社会の秩序と規律	錆びた自転車 【中軽米先生 自作資料】	社会や集団生活で法やきまりを守ることが大切であることを理解し, これを守ろうとする態度を育てる	P 92, 93	【特別活動】 文化祭
	3(2)	生命の尊重	奇跡の一週間	命の有限性について考えることで, 今を精一杯生きることや日常生活を大切にしていこうとする心情を育てる	P 76	【特別活動】 命を見つめる振り返りタイム

手順5 道徳的実践活動や道徳の時間の指導展開略案の作成

学校ごとの「命を大切に作る心を育む道徳的実践プログラム構想図」に基づき、道徳的実践活動や道徳の時間の展開略案を作成して、道徳的実践活動を推進します。
道徳的実践活動の指導展開案作成の手順と展開略案の例を下図に示します。

「『道徳的実践活動の指導展開略案』作成の手順」

道徳的実践活動と位置付けた文化祭指導展開略案（例）
 ～「人間関係を築く力」を高める道徳的実践活動～

1 中学校の文化祭のねらい

- ・ 中文化の継承と新たな創造に向けた集団活動をとおして、成就感を味わわせるとともに集団への所属感を高める。

2 道徳的実践活動のねらい

（人間関係を築く力を高める視点で）

- ・ 学級や学年の仲間との協力・団結をとおして、信頼・友情を育もうとする態度を育てる。

3 道徳的実践活動の展開

実施日	主な実践内容
/	特別活動 道徳的実践活動第一段階 文化祭に向けた意欲付け
/	道徳の時間 2 - (2) 「感謝，思いやり」の価値を高める授業
/	道徳の時間 2 - (3) 「友情・信頼」の価値を高める授業
/	特別活動〔学校行事〕道徳的実践活動第二段階 体験・活動 文化祭
/	特別活動 道徳的実践活動第三段階 文化祭の振り返り

4 展開略案

活動第一段階 設定時間【特別活動 学級活動「文化祭に向けた取組」】
 < 月 日 () 校時 >

段階	学習活動	生徒におさえさせたい事柄	指導上の留意点
導入	・ 昨年度の文化祭についての状況をまとめた資料を参考にし、資料の内容について感想を発表する。 ・ 課題を確認する。		・ 前時に書いた「見つめるシート」の結果をまとめた資料の提示から学級の生徒たちの文化祭に向けての意識をおさえさせる。
展開	文化祭を行うことの意義を考える。 文化祭を成功させるためにどんなことが大切な条件になるのかを考える。 ・ 学習を振り返り、今後文化祭にどのような気持ちや姿勢で臨んでいくのか「見つめるシート」に決意を書く。 ・ シートに書いた内容を発表し合い、意欲を高める。	文化祭の意義 ・ これまで学習して積み重ねてきたことを発表する機会であること ・ 仲間と協力することの大切さを学ぶ機会であること ・ 保護者や地域の方々に学習の成果を見ていただく場であること	・ 文化祭を行うことの意義や大切さは、集団で同じ目標に向かって取り組む中で、自分自身や集団の向上を図り、仲間と協力することの大切さを学ぶことに気付かせる。 ・ 生徒の発表を認め、励ましながら、意欲付けを行う。

ポイント1
各学校の教育活動のねらいの中に「健全な自尊感情」、「人間関係を築く力」、「規範意識」を高める視点に関連する内容がないかどうかを検討します

ポイント2
三つの重要事項の中で、関連した事項を高めるため視点での道徳的実践活動のねらいを設定します

ポイント3
道徳的実践活動の具体的な実施日を計画します
道徳の時間は重要事項に関連する内容項目から選択します

ポイント4
道徳的実践活動となる特別活動や総合的な学習の時間の単位時間における具体的な学習展開を示します

手順5をもとに作成した研究協力校の「道徳的実践活動展開案」はP12以降の資料編に示します。

道徳の時間では、道徳的実践活動との意図的な関連を図ることから、どのような重要事項を高める道徳的実践活動なのかによって、関連する内容項目を選択し、ねらいを決めます。三つの重要事項と関連するととらえた重視する内容項目を下図に示します。

三つの重要事項と関連するととらえた重視する道徳内容項目

重要事項	関連するととらえた重視する道徳内容項目
健全な自尊感情	1の視点(主として自分自身に関すること) 1-(2)希望, 勇気, 強い意志 1-(3)自主自律, 誠実と責任 1-(5)反省と向上, 個性の伸長
人間関係を築く力	2の視点(主として他の人とのかかわりに関すること) 2-(2)人間愛, 感謝と思いやり 2-(3)友情・信頼 2-(5)個性や立場の尊重, 謙虚, 広い心
規範意識	4の視点(主として集団や社会とのかかわりに関すること) 4-(2)遵法, 権利義務, 社会の秩序と規律 4-(3)公德心, 社会連帯の自覚 4-(4)正義, 公正公平, 差別や偏見の克服

内容項目の表題は、副読本から引用したものです。

さらに、道徳の時間については、道徳的実践活動のねらいに関連させるために、導入や終末の段階で、道徳的実践活動にかかわる発問や説話を意図的に行うことで、意欲付けを図る場を設定した道徳の時間の展開略案を作成して、授業を行います。下図に「『道徳の時間の指導展開略案』作成の留意点」を示します。

「『道徳の時間の指導展開略案』作成の留意点」

ポイント		「クマのぬいぐるみとわたし」指導展開略案(例)		
道徳の時間の導入や終末部分で、道徳的実践活動にかかわる発問や説話を意図的に行うことで、道徳的実践活動との関連を意識付けを図る	ねらい 2-(3)「友情・信頼」 友情の尊さを理解し、お互いに相手の立場になって行動しようとする態度を育てる。	展開案		
		主な教師のはたらきかけ 1 本時の価値への方向付けを行う。 文化祭の取組の中で友達っていいなあと思うのはどんな時か	予想される生徒の反応 ・学級の仲間と一緒に協力して合唱を創り上げていくこと ・自分の作品を仕上げる時に友達からアドバイスをもらったこと	指導上の留意点
		2 資料を範読し、価値の追求及び把握を図る。 基本発問 基本発問		
		3 価値の主體的自覚を図る。 中心発問		
道徳の時間の導入や終末部分で、道徳的実践活動にかかわる発問や説話を意図的に行うことで、道徳的実践活動との関連を意識付けを図る	終末 4 教師の説話 文化祭の中で真の友情を育んだ経験などを紹介する		・一つの物事に真剣に取り組む中で、お互いの信頼も深まっていき、真の友情が芽生えてくることに気付かせたい。	

手順5をもとに作成した研究協力校の「道徳の時間の指導展開案」はP12以降の資料編に示します。

以上の手順1から手順5に基づいて各学校の道徳的実践プログラムを作成して、命を大切にすることを育む道徳教育を推進していきます。

資料編

道徳的実践活動及び道徳の時間の実践事例



(3) 「命を見つめるオリエンテーション」指導展開案

「命を見つめるオリエンテーション」指導展開案

「命を見つめるオリエンテーション」のねらい
 中学生に命のもつさまざまな側面をイメージさせ、命を大切にする心を育むことが学校生活の中のあらゆる場面にかかわっていることを自覚させる。そのうえで、主体的に学校教育活動に臨もうとする意欲を高める。

「妹に」指導展開案			
【1時間目 道徳の時間：資料名「妹に」（出典：東京書籍「明日をひらく2」）】			
ねらい 道徳内容項目3 - (2)「生命の尊重」 生命の誕生をとおして、かけがえのない自他の命の尊さに気付き、家族や周りの人々の愛情に感謝しながら生きていこうとする心情を育てる。			
	教師のはたらきかけ	予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入 3分	1 今、自分が生きていることを振り返らせながら本時への意欲付けを行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">今、生きているあなたを支えてくれたのはどんな人たちですか</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族のおかげである ・親戚の人たち ・友人のクラスメイト ・幼稚園や小学校、中学校の先生方（担任の先生） ・スポーツのコーチ ・近所の方 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒個々の発言を認めながら発表しやすい雰囲気作りにつとめ、自分の家族や支えてくれた人のイメージを膨らませて資料の読みに入りたい。
展 開	2 資料を範読する。 3 資料を読んで、感動した箇所を発表させながら「妹の誕生」に対する家族のかけがえのない命を大切に育てていこうとする思いに共感させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">資料を読んで、最も感動したところはどこですか そこにどんな感想をもちましたか</div> 4 最後の連に注目させ、多くの愛を受けた人たちに感謝しながら生きていくわたしの喜びに気付かせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">多くの人からどのような心を受けてきたのですか</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">そのような多くの人々の心を受けて育ってきたわたしはどのように生きていきたいのか</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・「妹が我が家の愛の集まりのように思えた」家族の大きな喜びだったろう ・「妹といっしょに愛を育てていこう」わたしの妹に対する愛情がよく伝わってくる ・「十四歳はなれたわたしの妹よ」十四歳離れると少し母親のように妹をかけがえのない大切な存在としてとらえることができるのかなあと感じた ・賢く、たくましく ・かけがえのない存在として大切に育てられてきた ・健やかに育って欲しいという願い ・たくさん愛情 ・自分を生んでくれた親を始めとする家族や支えてくれた人への感謝する気持ちをもって生きていきたい ・親からももらった命だからと今を生きていくことが大切だ 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒から出された感動した場面からかけがえのない妹であるという感動をさらに膨らませるためにおさえておきたいこと <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> * 十四歳離れたわたしの妹 * 仮死状態で生まれた * 四十一歳の母さん、一週間の保育器暮らし（高齢出産の大変さ） * 宝物をあつかうようにそっとあなたをだかせてくれた時（首が据わらない） * あなたが生まれて五十一日目の日（お食い初め） </div> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳シートに書かせて考えさせる時間をもって、生徒一人一人の発言を受容的に受けとめていく ・書けない生徒には机間指導単語のみでも書かせていく。
37分			
終末 10分	5 今まで、家族を始めとしてまわりの人たちからどのような支えを受けてきたのかを想起させて発表させる。 6 次時の「命のオリエンテーション」の予告をする。		<ul style="list-style-type: none"> ・道徳シートに書かせて、発表させる。

【「命を見つめるオリエンテーション」の事前指導：短学活】

ねらい 「命を見つめるオリエンテーション」の学習を充実させるために、事前に生徒の命に関する意識の状況を把握する。

	教師のはたらきかけ	「命を見つめるシート」の設問内容
展 開 15分	<ul style="list-style-type: none"> 「命を見つめるシート」を配布して最近の人命を奪った事例を口頭で紹介し、意識付けさせる。 命について自分の考えや思いを「命を見つめるシート」に書かせる。 	<p>今日、わたしたちの身の回りでは、命にかかわる出来事がたくさん起きています。なぜ、これらの出来事が起きると思うか。あなたの考えを書きなさい。</p> <p>教師の「自ら命を絶つ」という言葉の投げかけについては、学級の実態に即して、配慮しなければならない。「命」について、今あなたが考えていることや思っていることを自由に書きなさい。</p>

「命を見つめるオリエンテーション」指導展開案

【2時間目 特別活動「命を見つめるオリエンテーション」】

ねらい 命を大切にしている心に「健全な自尊感情」、「人間関係を築く力」、「規範意識」の三つの重要事項がかかわっていることに気付かせる。さらに、それらの三つ重要事項を高めるための活動が日常の学校生活の中で行われていることに気付かせ、学校教育活動に主体的に取り組んでいこうとする意欲を高める。

	学 習 活 動	生徒におさえさせたい事柄	指導上の留意点
導 入 3分	1 「命を見つめるシート」の回答集約プリントを見て、学習内容を確認する。		<ul style="list-style-type: none"> 「命を見つめるシート」の回答集約プリントは、事前の振り返りシートと併せて提示する。 「なぜ命にかかわる出来事が起きたのか」という問いに対して、内容を要約して提示する。
展 開 32分	2 「命を見つめるシート」の回答集約プリントをもとにして三つに分類した事項がどのような心なのかを確認する。 三つに分類した共通点を考えて、プリントに記入し、発表し合う。 三つに分類した事項がそれぞれ「自分も他人も大切にしている心」、「まわりを大切にしようとする心」、「まわりを築こうとする心」のどれかであることを確認する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>命を大切にしている心 自分も他人も大切にしている心 (健全な自尊感情)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の命の大切さ、大事さをわかっていないから もっと自分を大切にして行動することが大事 もっと自分のことを考えれば事件は減ると思う <p>まわりの人とよりよい関係を築こうとする心 (人間関係を築く力)</p> <ul style="list-style-type: none"> 親から愛情をもらってない 周りに相談できる家族や友達がいらないから みんなから見離されたような孤独感を感じるから <p>善悪を判断し、まわりを築こうとする心(規範意識)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分以外の他人のことを全然考えない人間がいるから もっと、まわりのことを考えることが大切 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>自分も他人も大切にしている心 自他がかけがえない存在であることを自覚する心</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>まわりの人とよりよい関係を築く力 他人の立場や気持ちを思いやり、よりよい関係を築こうとする心</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>善悪を判断し、まわりを築こうとする力 やって良いことと悪いことの判断力を持ち、自分で自分を律する心</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> プリントと同じ内容を紙板書にして、黒板に提示し、意識化を図る。 「自尊感情」については、自分だけでなく他人もかけがえない存在であることを認識したもので、自律を打ちされた「健全な自尊感情」が大切であることを確認する。 命を大切にしない心の根底にある要因が「自分も他人も大切にしない心」、「まわりの人とよりよい関係を築こうとする心」、「まわりを築こうとする心」のどれかであることを確認する。

	学 習 活 動	生徒におさえさせたい事柄	指導上の留意点
展 開 32分	3 課題を確認する。		
	<p>命を大切にすることを育むために、日常の学校生活のどのような活動や場面を大切にしていけばよいのかを考えよう</p>	<p>学校生活のどのような活動や場面にかかわっていくのか</p>	
展 開 32分	<p>4 三つの重要事項を高めることと日常の学校生活との関係を考える。</p> <p>三つの重要事項を高めると、学校生活の活動や場面が大切になる。</p> <p>三つの重要事項を高めると、学校生活の活動や場面が大切になる。</p> <p>三つの重要事項を高めると、学校生活の活動や場面が大切になる。</p> <p>書いた短冊を各自、黒板に掲示して、お互いの考えを交流し合う。</p>	<p>自分も他人も大切にすることを築こうとする力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日の授業 ・部活動 ・生徒総会 ・入学式、卒業式 ・毎日の清掃活動 ・校外地区奉仕活動など <p>まわりの人とよりよい関係を築こうとする力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化祭 ・三送会 ・部活動 ・修学旅行 ・学級日常生活 ・応援活動 ・合唱活動など <p>善悪を判断し、まわりを考慮して行動しようとする心</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活委員会点検活動 ・職場体験活動 ・終学活の反省 ・時間を守るための取組 ・集団のきまりを守る取組など 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳的実践活動として位置づけられた「文化祭」に「図的」の取上げを図るといふこと。その意欲的実践活動に意欲的取り組みを図りたい。 ・生徒たちが短冊に書いた学校の教育活動や場面を三つに絞って発表し、理由をそれぞれに述べていく。
	5 今日授業をとおして学んだことや感想をシートに書いて発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活のさまざまな活動や場面を大切にすることが命を大切にすることにつながる。 ・日常の一日一日を充実させることが大切だ。 ・これからの一つの学校の行事を大切にしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の学校生活を大切にしたい。大切にするには、三つの重要事項を高めることに気をつける。
終 末 15分			

(4) 「道徳的実践活動として位置付けた総合的な学習の時間の職場体験学習」指導展開案

「道徳的実践活動として位置付けた総合的な学習の時間の職場体験学習」指導展開案
 ～「健全な自尊感情を高める」道徳的実践活動，「人間関係を築く力を高める」道徳的実践活動～

1 研究協力校の「総合的な学習の時間」における職場体験学習のねらい

- ・身近な地域の産業の職場体験を通して，勤労の意義を考え，自分の将来の進路を見つめさせる。

「健全な自尊感情を高める」道徳的実践活動の視点

- ・「地域から生き方を学ぶ ～花巻の発展のために～」をテーマとしているリサーチタイムの学習に役立てる。

「人間関係を築く力を高める」道徳的実践活動の視点

2 道徳的実践活動のねらい

健全な自尊感情を高める視点

- ・体験活動をとおして，自己の有用性や役割意識を感じ取り，自己を見つめ直すことで主体的に生きようとする態度を育てる。

人間関係を築く力を高める視点

- ・社会で働く多様な大人とのかかわりをとおして，自分自身も社会の中で多くの人とのかかわりの中で生きていることに気づき，主体的に学ぼうとする態度を育てる。

3 道徳的実践活動の展開

実践日	学校教育活動名	主な実践内容とねらい
H20 8月25日 (月)	総合的な学習の時間	道徳的実践活動 [第一段階] 個人目標の設定と意欲付け 「職場体験学習」に向けてねらいを確認させ，主体的に取り組もうとする意欲を育てる。
9月8日 (月)	道徳の時間	道徳内容項目1 - (5) 「反省と向上，個性の伸長」の価値を高める授業 資料名「じいちゃんへ」(出典：文部省道徳教育推進指導資料～「中学校読み物資料とその利用」～) (健全な自尊感情を高める視点) 自己を見つめ，自己の向上を図るとともに，個性や適性を伸ばして充実した生き方を追求しようとする意欲を育てる。
9月10日 11日 (水・木)	総合的な学習の時間	道徳的実践活動 [第二段階] 活動・体験 職場体験学習の実施
9月12日 (金)	総合的な学習の時間	道徳的実践活動 [第三段階] 活動の振り返り 「職場体験学習」を振り返り，活動の成果を確認し合うことで，達成感や成就感をもたせ，次の活動への意欲付けを図る。
9月22日 (月)	道徳の時間	道徳内容項目2 - (2) 「人間愛，感謝と思いやり」の価値を高める授業 資料名「夜の果物屋」(出典：東京書籍「明日をひらく2」) (人間関係を築く力を高める視点) 人の親切に素直に感謝し，他の人に対しては思いやりの心をもって接しようとする心情を育てる。

「じいちゃんへ」指導展開案その1

【道徳の時間：資料名「じいちゃんへ」（出典：文部省H3「道徳教育推進指導資料～中学校読み物資料とその利用～」）

ねらい 1 - (5)「反省と向上、個性の伸長」
 自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性や適性を伸ばして充実した生き方を追求しようとする意欲を育てる。

	教師のはたらきかけ	予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入 5分	1 本時の価値への方向付けを図る。 今度行われる職場体験学習でどんな事業所を訪問してくるのか。そこで、どんなことを学んで来たいのか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 製造工場。どんな時に仕事のやりがいを感じるか。 ・ 理容店。どうしてこの職業に就いたのかという職業選択の動機や理由が知りたい。 ・ 販売事業所。接客で一番心がけているのはどんなことか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分自身の体験を想起させながら、価値に対する意識付けをする。 道徳的実践活動との関連
展開 40分	2 資料を範読し、価値を追求及び把握させる。 僕が考えている本物の大工とはどんな大工だと思うか 僕は祖父のどのようなところを尊敬したり、人間的な魅力を感じたりしていると思うか じいちゃんからもらった道具を取り出して、ときどき見つめる時、僕はどんな気持ちになっていると思うか 「大工一筋に生きたい」という僕の考えをどう思うか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 祖父のように大工道具を心をこめて使い、苦勞して立派に家を造り上げていくのが本物の大工だ。 ・ 道具や木に愛着をもって日数をかけて家を造り上げていくのが本物の大工だ。 ・ 何十年もたっている古い道具を大切に使い、電動道具などに頼らないで、手で仕上げている姿 ・ 木の声を聞き、木と話をしながら仕事をしているじいちゃんの姿 ・ 自分もじいちゃんのような一人前の大工になろうと決意している。 ・ 師匠やじいちゃんの思いが入っている道具を大工になって早く使いたい。 ・ 自分の将来やりたいことがはっきりしてうらやましい ・ 自分の好きな職業に就いて、その職業に誇りをもつことは大切だから。 ・ たとえ、これから先大変でも自分で決めたことだからじいちゃんのような立派な大工になれると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来の進路で悩んでいたけれど、祖父のように大工道具や木に愛着をもって家を造っていく本物の大工になりたいと強く思っている僕の気持ちをとらえさせる。 ・ じいちゃんの信念やこだわりをもって大工の仕事に打ち込んでいる姿勢を僕は尊敬していることを共感的におさえさせたい。 ・ 師匠やじいちゃんの思いが込められている大工道具を使うことで、将来の自分の理想とする姿を思い浮かべていることをおさえさせたい。 ・ 主人公が、将来の自分自身の人生を前向きに考え、充実した生き方を求めようとしている姿に共感させながら、生徒個々に自分自身の生き方を振り返らせたい。
	3 心のノートを活用して、価値の主體的自覚を図る。 「あなたらしさがあなたの個性」の「自分のこんなところをこうしたい」という箇所に記入して、発表し合う	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の物事をすぐにあきらめしてまう習性を自分でこれぞと思ったことは最後までやり通すようになりたい。 ・ 人前に話すことが苦手な面を誰の前でも相手によくわかるように話せるようになりたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 心のノートを活用し、資料で把握した道徳的価値を自分の生活場面で想起させ、発表し合うことで価値の自覚を図る。
	終末 5分	4 職場体験学習のねらいを想起させながら、自分の個性や適性を伸ばして価値への関心の継続を図る。 職場体験学習のねらいを達成するために必要になってくるのはどんなことか	

「じいちゃんへ」指導展開案その2

【道徳の時間：資料名「じいちゃんへ」（出典：文部省H3「道徳教育推進指導資料～中学校読み物資料とその利用～」】

ねらい 1 - (5)「反省と向上，個性の伸長」
 自己を見つめ，自己の向上を図るとともに，個性や適性を伸ばして充実した生き方を追求しようとする意欲を育てる。

	教師のはたらきかけ	予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入 5分	1 本時の価値への方向付けを図る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 今度行われる職場体験学習でどんな事業所を訪問してくるのか，そこで，どんなことを学んで来たいのか </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 製造工場。どんな時に仕事のやりがいを感じるか。 ・ 理容店。どうしてこの職業に就いたのかという職業選択の動機や理由が知りたい。 ・ 販売事業所。接客で一番心がけているのはどんなことか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分自身の体験を想起させながら，価値に対する意識付けをする。 ・ 道徳的実践活動との関連
展開 40分	2 資料を範読し，価値を追求及び把握させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 「大工一筋に生きたい」という僕にはどんな気持ちがあると思うか </div> 上記の発問で道徳シートに書かせて，全員に発表させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 「大工一筋に生きたい」という僕の考えをどう思うか </div> 上記の発問で道徳シートに書かせ，発表させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ じいちゃんのような一人前の大工に早くなりたい。 ・ 大工道具を心をこめて使い，苦勞して立派に家を造り上げていくじいちゃんのようにになりたい。 ・ いつも木の声を聞き，木と話をしながら仕事をしているじいちゃんのようにになりたい。 ・ 師匠やじいちゃんの思いが込められている道具を大工になって早く使いたい。 ・ 四才の頃から植え続け，成長した杉の木で世界で一つしかない自分の家を造る夢を実現させるためにも大工になりたい。 ・ 自分の好きな職業に就いて，その職業に誇りをもつことは大切だから。 ・ たとえ，これから先大変でも自分で決めたことだからじいちゃんのような立派な大工になれると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の考えをシートに書いて，全員が発表することを意識付けた学習活動の展開に心がけたい。 ・ 全員が自分の考えを発表できたことを認め，次への道徳の時間への意欲へとつなげていきたい。 ・ 主人公が，将来の自分自身の人生を前向きに考え，充実した生き方を求めようとしている姿に共感させながら，生徒個々に自分自身の生き方を振り返らせたい。
	3 心のノートを活用して，価値の主體的自覚を図る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 「あなたらしさがあなたの個性」の「自分のこんなところをこうしたい」という箇所に記入して，発表しよう </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の物事をすぐにあきらめてしまう習性 ・ 自分でこれぞと思ったことは最後までやり通すようになりたい ・ 人前に話すことが苦手な面を ・ 誰の前でも相手によくわかるように話せるようになりたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 心のノートを活用し，資料で把握した道徳的価値を自分の生活場面で想起させ，発表し合うことで価値の自覚を図る。
終末 5分	4 職場体験学習のねらいを想起させながら，自分の個性や適性を伸ばして価値への関心の継続を図る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 今度行われる職場体験学習のねらいは，「勤勞の意義を考え，自分の将来の進路を見つめる」ことにある。そのために必要になってくるのはどんなことか </div>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の個性や適性をよく知り，向上させていくことが将来の自分の生き方や夢の実現につながることに気付かせたい。 ・ 道徳的実践活動との関連

「夜の果物屋」指導展開案

【道徳の時間：資料名「夜の果物屋」（出典：東京書籍「明日をひらく2」）】

ねらい 2 - (2) 「人間愛，感謝と思いやり」

人の親切に素直に感謝し，他の人に対しては思いやりの心をもって接しようとする心情を育てる。

	教師のはたらきかけ	予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入 5分	1 本時の価値への方向付けを図る。 職場体験学習の時に訪問先の事業所の人にどんな場面で「ありがたいなあ」と感じたか	・丁寧に仕事の内容や手順を教えてくれた時 ・自分たちのために忙しい時間を割いて貴重な体験をさせてくれた時	・職場体験学習の自分自身の体験を想起させながら，価値に対する意識付けをする。 道徳的実践活動との関連
展開	2 資料を範読し，価値を追求及び把握させる。 合唱部の練習で帰りが遅くなる少女は，毎晩どんな気持ちで帰宅していたと思うか	・人通りも少なくとても心細い。 ・不安である。 ・早く自宅に帰りたい。 ・暗やみが怖い。	・あらすじを簡潔におさえて話し合う場面を焦点化する。 ・あらすじは紙板書，生徒の発言は簡潔に板書する。 ・夜道を歩く少女の不安で心細い気持ちに共感させる。
	暗やみの中に果物屋の明かりが毎晩ともし続けられていることで，少女はどんな気持ちになったと思うか	・どうしてこんなに遅くまで明かりがついているのだろう。 ・このひとつの明かりで，何となく心が落ち着いた。ほっとさせられた。ありがたい。 ・店の明かりに温かさを感じる。	・少女が暗やみの中に明かりを見つけてどんなにありがたく，また心を落ち着かせたかを共感的に感じとらせる。
	果物屋に入って，店の奥から，楽しそうなハミングが聞こえてきた時，少女はどう思ったのだろうか	・あれ？ どうしてわたしたちの合唱曲のハミングをしているのだろうか？ ・どうして店の人はこの曲を知っているのだろうか？	・この時点では少女がまだ店の人たちの思いやりに気付いておらず，合唱曲のハミングを聞いて不思議に思っていることをおさえる。
開	どうして，少女は「この店の明かりがあんなに温かく見えたのは，当然だった」と感じたのだろうか	・見ず知らずの自分のために店の明かりをつけておいてくれたとは，なんて思いやりのある果物屋さんなんだろう。 ・店の明かりには果物屋さんの夫婦の温かい気持ちが込められていたのだ。	・果物屋の夫婦は少女を思う純真な気持ちから，自発的に明かりをともし続けたことに気付かせ，少女を思いやる心温まる善意に共感させる。
40分	3 道徳的価値の主体的自覚を図る。 日常生活の中で誰にどんなことで感謝した経験があるか その時，どんなことを感じたか	・交友関係で悩んでいる時に親友に相談にのってもらった。やっぱりもつべきものは親友だと思った。	・資料で把握した道徳的価値を自分の生活場面で想起させ，発表し合うことで価値の自覚を図る。 ・道徳シートに自分の体験を書くことで振り返らせ，発表して，お互いの考えを交流させる。
終末 5分	4 心のノートの関連する内容項目を範読し，本時のねらいとする価値への関心の継続を図る。		・心のノートを活用しながら，関連する価値の大切さに気付かせていく。

(5) 「道徳的実践活動として位置付けた文化祭」指導展開案

「道徳的実践活動として位置付けた文化祭」指導展開案

～「健全な自尊感情を高める」道徳的実践活動，「人間関係を築く力を高める」道徳的実践活動
「規範意識を高める」道徳的実践活動～

1 研究協力校の文化祭のねらい(抜粋)

・日常の学習活動の成果を生かす総合的な学習の場とし，文化的・創造的活動に自主的に取り組ませる中で，創造的な力の伸長を図るとともに，「生きる力」を養う。

「健全な自尊感情を高める」道徳的実践活動の視点

・南中文化の継承と新たな創造に向けた集団活動をとおして，成就感を味わわせるとともに集団への所属感を高める。

「人間関係を築く力を高める」道徳的実践活動の視点

(基本方針一部抜粋)

・計画的に時間のけじめをつけながら活動させ，後始末まで責任をもって行わせる。

「規範意識を高める」道徳的実践活動の視点

2 道徳的実践活動のねらい

健全な自尊感情を高める視点

・自己の役割意識をもつことで，自己有用感を感じ，よりよいものを創ろうとする向上心を育てる。

人間関係を築く力を高める視点

・学級や学年の仲間との協力・団結をとおして，信頼・友情を育もうとする態度を育てる。

規範意識を高める視点

・活動にかかわるきまりを守ることをとおして，自己の役割や責任を自覚し集団生活の向上に努める態度を育てる。

3 道徳的実践活動の展開

実践日	学校教育活動名	主な実践内容とねらい
H20 9月26日 (金)	特別活動	道徳的実践活動「第一段階」個人目標の設定と意欲付け 「文化祭」に向けてねらいを確認させ，主体的に取り組もうとする意欲を育てる。
10月 6日 (月)	道徳の時間	道徳内容項目1 - (2)「希望，勇気，強い意志」の価値を高める授業 資料名「アイヌ語とともに：金田一京助」 (健全な自尊感情を育む視点) 物事に積極的に取り組み，困難に屈しないで最後までやり通そうとする意欲を育てる。
10月14日 (火)	道徳の時間	道徳内容項目2 - (3)「友情・信頼」の価値を高める授業 資料名「クマのぬいぐるみとわたし」 (人間関係を築く力を育む視点) 友情の尊さを理解し，お互いに相手の立場になって行動しようとする態度を育てる。
10月20日 (月)	道徳の時間	道徳内容項目4 - (2)「遵法，権利義務，社会の秩序と規律」の価値を高める授業 資料名「錆びた自転車」(中軽米央子先生 自作資料) (規範意識を育む視点) 社会や集団生活で法やきまりを守ることが大切であることを理解し，これを守ろうとする態度を育てる。
10月26日 (日)	特別活動	道徳的実践活動「第二段階」活動・体験 文化祭の実施
10月29日 (水)	特別活動	道徳的実践活動「第三段階」活動の振り返り 「文化祭」を振り返り，活動の成果を確認し合うことで，達成感をもたせ，次の活動への意欲付けを図る。

道徳的実践活動 [第一段階：意欲付け] 活動展開案
 道徳的実践活動として位置付けた学校行事の文化祭

【特別活動】

ねらい 「文化祭」に向けてねらいを確認させ、主体的に活動に取り組もうとする意欲を育てる。

	学 習 活 動	生徒におさえさせたい事柄	指導上の留意点
導 入 5 分	1 昨年度の文化祭を想起させながら、自分が文化祭でどのようなことが思い出に残っているのか振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・学級のみならず取り組んだ合唱コンクールが思い出に残っている。 ・学級壁新聞に仲間と協力して取り組み、金賞に輝いたことが思い出に残っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の導入なので、生徒個々の発言を認めながら発表しやすい雰囲気作りに努め、生徒個々の正直な気持ちを出させたい。
展 開 30 分 終 末 15 分	2 課題を確認して、学級の文化祭に向けた意識をまとめた資料をみる。		<ul style="list-style-type: none"> ・前時に書いた「見つめるシート」の結果をまとめた資料の提示から学級の生徒たちの文化祭に対する状況をおさえさせる。
	学校の文化祭についてこれまでの自分の取組状況を見つめ直して、文化祭の意義を再確認し、今年度の文化祭にどう臨むのか個人目標をたてよう。		
	3 資料の中の文化祭について前向きに取り組んだ生徒の気持ちに注目し、そこにどのような価値があるのかを考える。	前向きに取り組んだ生徒の意識の根底 <ul style="list-style-type: none"> ・仲間と協力することの大切さを感じた。 ・一生懸命やることで賞に輝いて嬉しかった。 達成感 ・教科作品を全て提出期限を守って出展することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭に前向きに取り組む、達成感や成就感をもっている生徒の感想に注目させながら、意欲付けを図りたい。
	4 文化祭を行うことの大切さや意義について考え、発表する。 「なんのために、文化祭を行うのか」	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで学習して積み重ねてきたことを発表する機会である。 ・仲間と協力することの大切さを学ぶ機会だ。 ・保護者や地域の方々に学習の成果を見ていただく場だ。 	文化祭を行うことの大切さや意義 <ul style="list-style-type: none"> ・創造的な力の伸長を図るとともに、「生きる力」を養う。 ・仲間と協力することの大切さを学ぶ。 ・保護者や地域の方々に学習の成果を広く発表する。
	5 今後どのようにしていくことが文化祭の成功につながるのかを考え、発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱の練習を大切にし、一生懸命取り組むこと。 ・文化祭における自分の役割を自覚し、責任をもって実行すること。 ・どの教科の作品も完成させて、全て提出すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間とともに取組の過程を大切にし、充実させていくことが文化祭の成功の大きな鍵になることを確認させる。
6 学習を振り返り、今後文化祭にどのような気持ちや態度で臨んでいくのか「見つめるシート」に決意を書かせて、お互いの考えを交流し合う。		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の発表を認め、励ましながら、これからの文化祭の取組に前向きに臨もうとする意欲付けを行う。 	

道徳的実践活動 [第三段階：振り返り] 活動展開案
 道徳的実践活動として位置付けた学校行事の文化祭

【特別活動】

ねらい 「文化祭」を振り返り，活動の成果を確認し合うことで，達成感や成就感をもたせ，次の活動への意欲付けを図る。

	学 習 活 動	生徒におさえさせたい事柄	指導上の留意点
導 入 5 分	1 文化祭の想起 ・先日行われた「文化祭」の感想を聞くことで「文化祭」を想起する。	・生徒個々の「文化祭」の体験内容	・「文化祭」でどのような活動のどのような場面が思い出に残っているか，生徒の発言をもとにして，活動を振り返らせるきっかけをつくる。
展 開 40 分	2 文化祭の振り返り ・文化祭をとおして学んだこと，個人目標に対する自己評価を見つめるシートに書く。 ・見つめるシートに記述したことをもとに，学んだことを発表し合う。 ・見つめるシートに記述したことをもとに，個人目標に対する自己評価を発表する。	・文化祭でどのようなことを学ぶことができたか。 ・文化祭に向けてたてた個人目標に対して自分の取組状況はどうであったか。 文化祭でどのようなことを学ぶことができたか。 ・仲間と協力することの大切さと喜び ・一生懸命最後まで粘り強く取り組むことの大切さ ・創意工夫することでより良いものを創ろうとする気持ちの大切さ 文化祭に向けてたてた個人目標に対して自分の取組状況はどうであったか。 ・最初は意欲的ではなかったが仲間が真剣に取り組んでいる様子を見て，真剣に取り組むようになったので後半は目標を達成することができた。 ・文化祭の学級合唱は学級の団結を確認することができ思い出に残った。個人目標は達成できたと思う。	・文化祭をとおしてどのようなことを学ぶことができたのか。個人目標に対して，自分の取組状況はどうであったのかを振り返らせる。 ・生徒の発表を認め，励まして「文化祭」の成果を確認する中で，意味付けや評価を行う。
終 末 5 分	3 教師の説話 ・文化祭で印象に残ったり，感動したりした教師の感想や評価を聞く。		・教師は，生徒の良さやがんばりを自らの言葉で認め，励ますことで，生徒個々の健全な自尊感情の育成を図るとともに，今後の学校教育活動に向けて，生徒の意欲を高める。

「アイヌ語とともに 金田一京助」指導展開案その1

【道徳の時間：資料名「アイヌ語とともに 金田一京助」(出典：東京書籍「明日をひらく3」) ねらい 1 - (2)「希望，勇気，強い意志」 物事に積極的に取り組み，困難に屈しないで最後までやり通そうとする意欲を育てる。

	教師のはたらきかけ	予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入 5分	1 本時の価値への方向付けを図る。 まわりの級友でがんばっていると 思う人はいないか 2 金田一京助の紹介をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ A君は，休み時間でもテスト勉強をがんばっていてすごい。 ・ Bさんは，部活中毎日，練習していて，見習いたい。 ・ 金田一京助が岩手県出身で，アイヌ語の研究をはじめ言語学者として一生言語学の研究に取り組んだ人であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ まわりの級友のがんばりに気付かせながら，価値に対する意識付けを図る。 ・ 金田一京助の人物紹介を簡単に行い，人物に対する関心をもたせる。
展開 40分	3 資料を範読し，価値を追求及び把握させる。 ・ 家族の期待とアイヌ語研究継続のどちらを選択するのか葛藤する金田一京助に共感させる。 家族の安定した生活とアイヌ語研究の継続の道のどちらに進もうか悩む京助はどんな気持ちだと思うか 家族の安定した生活よりもアイヌ語研究の継続の道を選んだ京助をどう思うか 「一つのことには生涯をささげることによって，なんとかものになることができました」という言葉には京助のどんな思いが込められていると思うか	<p>家族の安定した生活を大切にすること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 長男として家族を守る役割を果たさなければ。 ・ これまで自分の学問のために多大な援助をいただいた家族や親戚の人たちに恩返しをしなければ。 ・ はなやかな名声や学者としての地位，豊かな収入に関心がないわけではない。 <p>アイヌ語研究を続けること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ユーカラの素晴らしさを後世に伝えていきたい。 ・ 今，アイヌ語研究を誰もやる人がいなくなってしまったならば，アイヌ語が世界から消えてしまう。 ・ アイヌの人々のためにも研究をやめるわけにはいかない。 ・ アイヌの文化を守りたい。 <p>京助の選択に共感的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分がやりたいと思うことをやり通す意志の強さが大切だ。 ・ 自分がやらなければならないという使命感があったのだ。 ・ 自分が一生かけてやるべき仕事を選択したのだから良かったのではないか。 <p>京助の選択の批判的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安定した収入やはなやかな名声を投げ打ってまでも研究しようとは思わない。 ・ 親や親類の期待を裏切ってまで，研究する必要はない。 ・ 一つの物事に粘り強く取り組むことによって，はじめて本当のことが見えてくる。 ・ 自分で決めたことを最後までやり抜くことで，自分自身も成長することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当時の家族における長男の立場や立身出世をして故郷に錦を飾ることの意味についても考えさせながら京助の心に共感させたい。 ・ 京助がアイヌ語研究の継続にこだわったのは，アイヌ語をとおしてアイヌの文化や人間性を後世に残したいという学者としての情熱であったことをおさえさせながら，京助の心に共感させたい。
終末 5分	4 価値を振り返らせる。 まわりの級友でがんばっていると 思う人はいないか		<ul style="list-style-type: none"> ・ 金田一京助のような意志の強さが，自分たちの内面にも要素としてあることを感じ取らせ，お互いを認め合う雰囲気を作級内に作る。

「アイヌ語とともに 金田一京助」指導展開案その2

【道徳の時間：資料名「アイヌ語とともに 金田一京助」(出典：東京書籍「明日をひらく3」) ねらい 1 - (2)「希望, 勇気, 強い意志」
物事に積極的に取り組み, 困難に屈しないで最後までやり通そうとする意欲を育てる。

	教師のはたらきかけ	予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入 5分	1 本時の価値への方向付けを図る。 まわりの級友でがんばっていると思う人はいないか	<ul style="list-style-type: none"> ・ A君は, 休み時間でもテスト勉強をがんばっていてすごい。 ・ Bさんは, 部活中毎日, 集中して練習に取り組み, 見習いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ まわりの級友のがんばりに気付かせながら, 価値に対する意識付けを図る。
展開 40分	2 資料を範読し, 価値を追求及び把握させる。 (1) 将来の進路選択を決断できない京助の気持ちを考える 学者として従来からある言語の研究に進むか世間からかえりみられないアイヌ語の研究に進むかまだ進路を決めかねている京助はどんな気持ちか (2) アイヌ語の研究の道に進んだ京助の気持ちを考える。 世間からかえりみられない学問にもかかわらずアイヌ語研究の道に進んだ京助はどんな気持ちか (3) 困難を乗り越えてアイヌ語研究をやり通すことができた京助の気持ちを考える。 さまざまな困難を乗り越えてアイヌ語研究をやり通すことができたのは京助の中にどんな気持ちがあったからだと思うか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他の仲間が研究で成果を上げていく中で本当に自分はアイヌ語の道に進んでよいのだろうか。 ・ アイヌ語の研究には膨大な時間や労力がかかり, 果たして自分がやり遂げることができるのだろうか。 ・ 世間からかえりみられないアイヌ語だけれど今この研究をしないとアイヌ語が消えてしまう。 ・ アイヌ語の研究に魅力ややりがいを感じるので, どうしても続けたい。 ・ 今この研究をやるのは自分以外にない。 ・ アイヌ語を研究することで, アイヌの文化や人間性を後世に残したい。 ・ 決めたことを最後までやり通そうとする強い意志があったから。 ・ 自分がアイヌ語を研究しようと一度決意したことを粘り強く続けてきたから。 ・ アイヌ語を研究することで, アイヌの文化や人間性を後世に残したいと強く思い続けてきたから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 金田一京助の人物紹介を簡単に行い, 人物に対する関心をもたせ, 資料を範読する。 ・ 価値把握のために関連するキーセンテンスやキーワードの紙板書を貼って, そこから生徒たちが考えたことを発表する展開を進める。 ・ 進路選択で揺れる京助の気持ちに共感させ, アイヌ語研究の道に進むことは厳しい将来を意味することをとらえさせる。 ・ 京助の心の中にアイヌ語を研究することで, 彼らの文化や人間性を後世に残したいという学者としての強い思いがあったことに気付かせる。 ・ 京助に, 一度決めたことを継続実行していく意志の強さや粘り強さがあったことをとらえさせる。
終末 5分	4 価値の主體的自覚や意欲付けを図る。 これまで, 粘り強くやり通してきた経験はないか また, まわりの級友でがんばっていると思う人はいないか どんながんばりを見せているか	<p>(自分自身)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎日, 家庭学習を継続して行うように心がけている。毎日の積み重ねを大切にして卒業後の進路達成に結び付けたい。 ・ 先月の地区新人戦では, 初戦で敗退してしまった。金田一さんのような意志の強さを見習って, 毎日短時間でも練習をがんばって続けて, 来年中総体では地区優勝したい。 <p>(担任や級友からのコメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Aさんは, 毎日目立たないところで, 清掃をがんばっている。口数は少ないけれど, やることはしっかりやるところが素晴らしいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 金田一京助のような意志の強さが, 自分たちの内面にも要素としてあることに気付かせる。 ・ 自分のこれまでの生き方を肯定的に考えられない生徒も多いと予想されることから, 担任や級友からのコメントによっても気付かせる。

「クマのぬいぐるみとわたし」指導展開案

【道徳の時間：資料名「クマのぬいぐるみとわたし」（出典：東京書籍「明日をひらく2」）
ねらい 2 - (3)「友情・信頼」

友情の尊さを理解し、お互いに相手の立場になって行動しようとする態度を育てる。

	教師のはたらきかけ	予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入 5分	1 本時の価値への方向付けを図る。 友達っていいなあと思うのはどんなときか	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな悩みを聞いてくれたとき。 ・優しい言葉をかけてくれたとき。 ・苦しんでいるときに助けてくれたとき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数名に発表させることで、ねらいとする価値への方向付けを図る。
展開 40分	2 資料を範読し、価値を追求及び把握させる。 「わたし」は、普段ホワイトにどんな気持ちで話しかけていたのだろうか 「勇気をもとう」と心に決めた「わたし」にはどんな気持ちがあったのだろうか なぜ、「わたし」は、ホワイトと向き合うなり泣き出してしまったのだろうか ホワイトの「信じて。」という声によって、「わたし」のあゆみに対する気持ちはどう変わったか 3 価値の主體的自覚を図る。 友達づきあいの中で、本当に大切なことはどんなことだろう	<ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトに毎日挨拶することで心を通わせていこう。 ・ホワイトに自分の本音を聞いてもらおう。 ・わたしの友人のようにわたしの本当の気持ちを受け止めてほしい。 ・「わたし」もホワイトも自分の思いを伝えないから、周りがどんな気持ちでいるのかわからないのは当然だったのだ。 ・「わたし」はいつも本心を声に出したことがなかった。 ・これからは、自分の本心をできるだけ打ち明けていこう。 ・初めて、本音であゆみに自分の思いを打ち明けることができたのに、自分が本音を言ったことであゆみをかなり傷つけてしまったかもしれない。 ・もしも、あゆみという大切な友達を失ってしまったらどうしよう。 ・あゆみには「わたし」の本当の気持ちをわかってほしい。 ・「わたし」には友人のあゆみを信じるしかない。 ・本当の友人ならば、あゆみのことを信じて、自分の悪かったところは素直に謝り、「わたし」の本心を理解してもらおう。 ・「わたし」の本当の心をあゆみならきっとわかってくれるだろう。これからも何でも打ち明けていきたい。 ・お互いのことを信頼して、付き合うこと。 ・相手に合わせるだけでなく、自分の考えもはっきり言ってお互いに理解し合うこと。 ・お互いの長所は認め合い、よくないところは指摘し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・孤独を感じるのがこわいからわたしは、ホワイトと心を通わせていくことが大切だと思っていることをとらえさせる。 ・これまで自分がずっと友人に対して心を開いてこなかったことに気づき、これからはもっと本心を打ち明けていこうと決意する「わたし」の気持ちに気付かせる。 ・自分が思い切って本音を言ったがために、あゆみという大切な友達をなくしてしまうのではないかという不安な「わたし」の気持ちに共感させる。 ・ホワイトが友人であるあゆみの仮の姿という役割を果たしていることに気付かせる。 ・あゆみには自分の本心を受けとめてもらいたいし、受けとめてくれることを信じている「わたし」の気持ちをとらえさせる。 ・道徳シートに書いて、発表させる。 ・道徳的実践活動第一段階で活用した「見つめるシート」の中で級友との協力や信頼関係の大切さにふれて書いた人のコメントの紹介をするのもよい。
終末 5分	4 教師の説話を行う。 学校行事（文化祭など）の中で真の友情を育んだ経験談などを紹介する。		<ul style="list-style-type: none"> ・一つの物事に真剣に取り組む中で、お互いの信頼も深まり、真の友情が芽生えてくることに気付かせたい。 ・道徳的実践活動との関連

「錆びた自転車」指導展開案

【道徳の時間：資料名「錆びた自転車」(出典：平成19年「岩手県授業力ブラッシュアッププラン」久慈市立山形中学校 教諭 中軽米 央子先生自作資料)】

ねらい 4 - (2) 「遵法，権利義務，社会の秩序と規律」
社会や集団生活で法やきまりを守る事が大切であることを理解し，これを守ろうとする態度を育てる。

	教師のはたらきかけ	予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入 5分	1 本時の価値への方向付けを図る。 学校生活の内外でのきまりは何か。そのきまりについてどう思うか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間を守ること。 ・ 身だしなみを整えること。 ・ 校外生活で入ってはならない店に入らない。 ・ きまりはなくてはならない。 ・ きまりが厳しいので，もっと緩めても良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校生活の内外でのきまりについて想起させることで，本時の意欲付けを図る。 ・ 道徳的実践活動との関連
展開 40分	2 資料を範読し，価値を追求及び把握させる。 コンビニに置いた自分の自転車がなくなっていた時の康はどんな気持ちになったと思うか コンビニに置いてあった自転車に乗って，ペダルをこぎながら康はどんなことを考えていたのだろうか どうして康はすぐに自転車を返そうとしなかったのだろうか 「自分も同じことをしているって気づいていたんだらう？」と警察官から言われた言葉が康に鋭く刺さるようにピシッと響いたのはなぜか 3 価値の主體的自覚を図る。 学校の文化祭に向けたきまりについてのあなたの考えを書きましょう	<ul style="list-style-type: none"> ・ どうして俺の自転車が盗まれたのだろうか？ ・ 鍵をしっかりかけておけば良かったと後悔している。 ・ 一体，自転車を盗んだのはどこの誰なんだ。 ・ 自分の自転車も盗まれ，誰も乗っていないよだからちょっとの間だったら借りていてもまあいいか。 ・ キーキーという音が後ろめたいことをした気持ちと重なって不気味。 ・ すぐに返しにすれば，大丈夫だろう。 ・ だんだん罪の意識が薄れてきたから。 ・ そのうちに返せばいいと安易に思っていたから。 ・ もしも，コンビニに返しにいき，そこで持ち主と出会ったら面倒なことになると思ったから。 ・ やばい。どうしようという戸惑いの気持ち。 ・ やってはいけないことだとわかっていながらもやってしまったことに対する後悔。 ・ これは，盗みになるんだという罪を自覚する気持ち。 ・ 文化祭を成功させるためにきまりは必要だ。 ・ 自分たちの決まりは自分たちで守ることが大切だ。 ・ きまりは私たちの生活を向上させるために必要だと思う。 ・ きまりを守ることは時として面倒に感じることもあるけれど全体のために必要なことだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 急に自分の自転車が無くなったことで戸惑い，盗んだ人に対する憤りの思いなど康の気持ちに共感させる。 ・ 自分の自転車が盗まれており，冷静な判断力を失っていたことに共感させながらも他人の自転車に勝手に手をつけた自分に後ろめたさを感じ，心が非常に揺れていることをおさえさせる。 ・ そのうちに返せばいいという安易な気持ちに流されて，錆びた自転車に乗ることに次第に抵抗を感じなくなった康の気持ちをおさえさせる。 ・ 警察官の言葉の意味が，「自分で悪いことと知っていてやったのだろうか？」ということをおさえさせる。その上で黙って他人の自転車に乗っていたことが盗みという犯罪だったことに気付いた康の後悔の念をとらえさせる。 ・ 文化祭に向けた学校や生徒会の活動のきまりを想起させ，自分たちで決めたまきまりを守る意義についても考えさせる。 ・ 法を守ることも自分たちの学校生活のきまりを守ることも自分も生き，他者も生きる（共生）ために大切でつながってくるということに気付かせる。
終末 5分	4 教師の説話を行う。 きまりを守る事の大切さに関する体験談を紹介する。		<ul style="list-style-type: none"> ・ 短絡的にきまりを守るべきものという押し付けにならないようにする。

(6) 「命を見つめる振り返りタイム」指導展開案

「命を見つめる振り返りタイム」指導展開案

「命を見つめる振り返りタイム」のねらい
 「命を見つめるオリエンテーション」を受けて取り組んできた道徳的実践活動を振り返って、どのような成長がみられたのかを交流し合い、命を大切にしている心にどのようにつながったのかを確認する。

【1時間目 特別活動「命を見つめる振り返りタイム」】		
ねらい これまで取り組んできた道徳的実践活動を振り返ってどのような成果があったのかを交流し、命を大切にしている心にどのようにつながったのかを確認する。		
	学 習 活 動	生徒におさえさせたい事柄 指導上の留意点
導 入 5 分	1 「命を見つめるオリエンテーション」から、これまで行ってきた職場体験学習や文化祭をとおして、力を入れて取り組んできたことやそこから学んだことを想起する。	<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験学習・文化祭では力を入れて取り組んだ。 ・そこから ということを学ぶことができた。 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒個々の発言を認めながら、発表しやすい雰囲気づくりに努め、これまで取り組んできた活動に自分がどのような姿勢で臨んだのかを想起させる。 ・これまで取り組んできた「見つめるシート」をもとにして発表させてもよい。
展 開	2 課題を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験学習・文化祭では力を入れて取り組んだ。 ・そこから ということを学ぶことができた。
	3 道徳的実践活動である職場体験学習、文化祭などを振り返って、活動の成果を「命を見つめるシート」に書く。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> これまで取り組んできた学校教育活動を振り返って、自分が学んだことや成長できたことを交流し合おう </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 職場体験学習 文化祭 活動をとおして学んだこと そこから自分自身がどんな心を育むことができたか </div>
	4 「命を見つめるシート」に書いたことをもとに活動の一つに絞って、心の成長を短冊に書く。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 命を大切にする心 ↑ 健全な自尊感情 自分も他人も大切にする心 人間関係を築く力 まわりの人とよりよい関係築こうとする力 規範意識 善悪を判断して、まわりを考えて行動しようとする心 </div>
5 書いた短冊を各自黒板に貼って、お互いの心の成長を交流し合う。		<ul style="list-style-type: none"> ・黒板に貼った短冊をもとにできるだけたくさんの生徒に心の成長を発表させたい。
6 それぞれの心の成長が命を大切にしている心に結び付くことを確認する。		<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育活動に一生懸命取り組んだり、充実させていくことが自他の命を大切にしている心に気付かせる。
40 分	7 教師の説話を聞く。	
終 末 5 分	8 次時が「生命尊重」にかかわる道徳の時間であることを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「命のオリエンテーション」で、毎日の学校生活を大切にしていきたいという視点で書かれた生徒の感想を紹介する。

「奇跡の一週間」指導展開案			
【2時間目 道徳の時間：資料名「奇跡の一週間」（出典：東京書籍「明日をひらく2」）】			
ねらい 3 - (2) 「生命の尊重」 命の有限性について考えることで、今を精一杯生きることや日常の生活を大切にしていこうとする心情を育てる。			
	教師のはたらきかけ	予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入 5分	1 本時の価値への方向付けを図る。 「ホスピス」という言葉を聞いたことがあるかどうかのような意味をもつ言葉なのか	・聞いたことがない。 聞いたことがある。 癌に関係する言葉だ。 癌になった人が入っている施設だ。	・「ホスピス」が、末期癌の激しい痛みをおさえて安らかに死をむかえるための施設であることを確認し、本時への関連付けを図る。
展 開 40分	2 資料を範読し、価値を追求及び把握させる。 「ホスピスで患者さんが亡くなると、悲しくないの」という問いに対して、わたしが「むっとしていた」のはどうしてか 北村さんにさし絵を描いてくれるように依頼したわたしの気持ちが変化したのはわたしにどのような気持ちがあったからだと思うか 「北村さんは、いっしょけんめい『生きていた人』」という言葉から、わたしは、「生きること」とはどんなことだと感じていたと思うか	・人の死が悲しくないわけがないから。 ・死に対峙する切なさ、悲しさをわざわざ聞く無神経さに腹が立ったから。 ・北村さんがさし絵を描くことに真剣だったから。 ・さし絵を描くことで、生きる証を残そうとした北村さんの姿勢に打たれたから。 ・たとえ癌という病気でさえさし絵を描くことで自分が必要とされていることに喜びを見いだしていると筆者が感じたから。 ・生きることは、毎日毎日大切にしていこうこと ・生きることは、自分の得意なことをどんどん伸ばすこと ・生きることは、今自分がやるべきことを精一杯やること	・無神経に問うてくる人と同じように実はわたし自身も憐れみの気持ちでホスピス患者を見ていたのだということに気付かせる。 ・わたしの気持ちの変化が、北村さんの仕事に対する真剣さから、今を大切に生きる姿勢に胸を打たれ、自分も本気にならなければ北村さんに失礼だと思ったことをとらえさせる。 ・北村さんの仕事に対する姿勢から、生きることは、今自分がやるべきことを精一杯やることや毎日大切にしていこうことに気付かせる。
終末 5分	3 教師の説話を行う。 「心のノート」P76「いつか終わりがあること」を範読する。		・「心のノート」の関連ページを読むことで、命の有限性に対する思いを高めたい。

【「命を見つめる振り返りタイム」の事後指導：短学活】			
ねらい 「命を見つめる振り返りタイム」の学習のまとめとして、生徒たちに改めて命について自分の考えを見つめ直し、命を大切にしていこうとする態度を育てる。			
	教師のはたらきかけ	「命を見つめるシート」の設問内容と指導上の留意点	
展 開 15分	・「命を見つめるシート」に命について自分の考えや思いを書かせて、学習のまとめとする。 ・書いた内容を発表交流させて、命を大切にしようとする態度を育む。	「命」について、今あなたが考えていることや思っていることを自由に書きなさい。 毎日の生活を大切にすることや今、自分ができていることを一生懸命やるのが命を大切にすることにつながることに気付かせたい。	

(5) 実践で使用した「見つめるシート」



命を見つめるシート

【命を見つめるオリエンテーション版】
年 組 番

氏名

今日わたしたちの身の回りでは、命にかかわる出来事がたくさん起きています。
なぜ、このような出来事が起きるのか、あなたの考えを書いてください。

「命」について、今あなたが考えていることや思っていることを自由に書きなさい。



命を見つめるシート 2

【命を見つめるオリエンテーション版】
年 組 番

氏名

三つの重要事項をそれぞれ育てていくために、学校のどんな活動や場면을大切にしていけばよいのか理由も含めて考えよう。

「自分を大切にする心」を育てるために特に大切にしたい活動や場面

その理由

「まわりの人とよりよい関係を築こうとする力」を育てるために大切にしたい活動や場面

その理由

「善悪を判断し、まわりを考えて行動しようとする心」を育てるために大切にしたい活動や場面

その理由

今日の授業の感想

自分を見つめるシート（職場体験学習）



年 組 番 氏名

あなたの今回の訪問先（事務所名）

今回の職場体験学習のねらいは何だと思いますか。これまでの学習を振り返って、もう一度ねらいについて考えて、書きましょう。

- ・

- ・

上記のねらいを確認した上で今回の職場体験学習の個人目標をたてましょう。
（目標は2つぐらいでもかまいません）

職場体験学習を終えて、どんなことを学びましたか。書きましょう。

職場体験学習を終えて、個人目標に対して、実際に自分自身の行動や考えはどうでしたか。もう一度、自分の行動を振り返ってみましょう。



自分を見つめるシート（文化祭：事前）

年 組 番 氏名

来月行われる文化祭に向けて、どんな気持ちで臨むのか自分自身を見つめましょう

あなたは、昨年度の文化祭にどのような気持ちで臨みましたか。思い出して書いてみましょう。

文化祭はどのようなねらいのある活動だと思いますか。あなたの考えを書きましょう。

文化祭で、どのようなことに力を入れて取り組みたいですか。個人目標をたてましょう

個人目標を達成するために具体的にどのような行動をしますか。

自分を見つめるシート（文化祭：事後）



年 組 番 氏名

文化祭での自分自身の気持ちや行動を振り返ってみましょう。

あなたは、文化祭にどのような気持ちで取り組みましたか。

文化祭に向けてたてた個人目標に対して、あなた自身の取組はどうでしたか。

文化祭の取組をとおして、あなた自身の成果はどんなことですか。



命を見つめるシート【振り返りタイム用】

年 組 番

氏名

これまでの学校行事の文化祭の取組や総合的な学習の時間の職場体験活動の取組などを振り返ってどんなことを学ぶことができましたか。そのことで、自分自身がどのような心の成長が見られたのでしょうか。

「命を見つめるオリエンテーション」で自分が力を入れてきたと考えた活動

・活動をとおして学んだこと

・そこから自分自身がどんな心を育むことができたか

職場体験活動

・活動をとおして学んだこと

・そこから自分自身がどんな心を育むことができたか

文化祭

・活動をとおして学んだこと

・そこから自分自身がどんな心を育むことができたか

「命」について、今あなたが考えていることや思っていることを自由に書きなさい。
